

令和4年度紀の川市水道事業決算の概要 (計画値との比較)

令和6年2月
紀の川市上下水道部

◆経営成績（収益的収支） P 3

◆投資状況（資本的収支） P 4

◎建設改良費の状況 P 5

◆財政状態 P 6

◆評価まとめ P 7

◆ 経営成績

収益的収支（令和4年度損益計算書より抜粋）

（単位：千円）

科 目	令和4年度決算	令和3年度決算	前年度比較	経営戦略計画値	比較	評価コメント
収入	1,598,125	1,794,459	-196,334	1,615,636	-17,511	
給水収益	1,108,957		-93,275		-94,648	前年度より約9,300万円減少していますが、これはコロナ禍における物価高騰対策による3か月間の基本料金免除が主な要因で、免除なしで試算した場合は計画値を若干下回る程度となります。
(基本料金免除なしの場合)	(1,194,623)	1,202,232	(-7,609)	1,203,605	(-8,982)	
他会計繰入金	155,841		101,825		100,880	前年度より約1億円増加していますが、これは基本料金免除分を補填するための一般会計繰入金が主な要因で、免除なしで試算した場合は計画値を若干上回る程度となります。
(基本料金免除なしの場合)	(61,432)	54,016	(7,416)	54,961	(6,471)	
受託工事収益	133,817	336,567	-202,750	152,674	-18,857	
加入金	59,158	53,893	5,265	51,799	7,359	
長期前受金戻入	114,250	117,931	-3,681	112,316	1,934	
その他	26,102	29,820	-3,718	40,281	-14,179	
支出	1,341,559	1,534,463	-192,904	1,404,074	-62,515	
施設維持管理経費	452,088	423,082	29,006	462,916	-10,828	前年度より浄水場電気使用料の高騰や配給水管等修繕費の増加により維持管理経費は増加しましたが、計画値を下回りました。
人件費	154,405	157,230	-2,825	162,064	-7,659	
受託工事費	125,340	318,131	-192,791	152,045	-26,705	
減価償却費	507,953	510,560	-2,607	511,735	-3,782	
支払利息	74,487	82,787	-8,300	75,381	-894	
その他経費	27,286	42,673	-15,387	39,933	-12,647	
当年度損益	256,566	259,996	-3,430	211,561	45,005	計画値より若干上回っており、黒字を維持することができました。

◆投資状況

資本的収支

(単位：千円)

科 目	令和4年度決算	令和3年度決算	前年度比較	経営戦略計画値	比較	評価コメント
収入	577,995	418,631	159,364	648,943	-70,948	
企業債	379,700	179,800	199,900	423,600	-43,900	
補助金	34,203	48,547	-14,344	46,666	-12,463	
工事負担金	1,743	30,707	-28,964	13,124	-11,381	
一般会計出資金	162,207	159,577	2,630	165,007	-2,800	
その他資本的収入	142	0	142	546	-404	
支出	1,250,363	1,016,954	233,409	1,405,075	-154,712	
建設改良費	674,116	456,537	217,579	824,315	-150,199	経営戦略の計画期間開始から令和4年度までで平均6.2億円の投資（建設改良）を実施しています。 ※計画はR1～10年度で約50億円
企業債償還金	573,443	560,417	13,026	577,793	-4,350	
その他資本的支出	2,804	0	2,804	2,967	-163	
資本的収支	-672,368	-598,323	-74,045	-756,132	83,764	計画値より収支のマイナスが減少しました。

◎ 建設改良費の状況

令和元年度 資本的支出 建設改良費 539,567,253 円

(主な工事)	
・ 登尾配水池電気計装設備更新工事	109,670,000 円
・ 粉河中央配水池ポンプ計装盤更新工事	15,651,900 円
・ 切畑低区配水池移設工事	49,351,500 円
・ 切畑低区配水池造成及び配管移設工事	24,874,300 円
・ 貴志川浄水場4号ろ過池更新工事	48,015,000 円

令和3年度 資本的支出 建設改良費 456,537,644 円

(主な工事)	
・ 国道24号3工区配水管布設替工事	68,948,000 円
・ 市道畑野上枇杷谷線送配水管布設替工事	107,328,100 円
・ 粉河高区配水池更新1期工事	46,178,000 円
・ 桃山町調月地区配水管布設替工事	9,037,600 円
・ 貴志川浄水場無停電電源装置更新工事	40,645,000 円

令和元年度～4年度合計 2,496,557,036 円

令和2年度 資本的支出 建設改良費 826,336,217 円

(主な工事)	
・ 登尾配水池発電機更新工事	50,783,700 円
・ 県道泉佐野打田線(1工区JR和歌山線)配水管布設替工事	48,298,800 円
・ 麻生津取水井工事	50,805,700 円
・ 桃山中央監視装置更新(上水道)工事	259,930,000 円
・ 貴志川浄水場防水修繕工事	24,995,300 円

令和4年度 資本的支出 建設改良費 674,115,922 円

(主な工事)	
・ 国道24号2工区配水管布設替工事	94,602,200 円
・ 粉河中央監視システム更新工事	174,989,100 円
・ 粉河高区配水池更新2期工事	139,977,200 円
・ 大原口地区導水管配管替工事	18,964,000 円
・ 貴志川浄水場急速ろ過機設置工事	62,568,000 円

令和元年度～4年度平均 624,139,259 円

◆財政状態（令和4年度貸借対照表より抜粋）（単位：円）

科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	14,892,439,763	固定負債	5,486,703,568
有形固定資産	14,391,581,523	企業債①	5,481,921,868
土地	978,770,035	リース債務	4,781,700
建物	509,621,168	流動負債	1,050,407,859
構築物	10,079,575,254	企業債②	583,953,000
機械及び装置	2,474,601,238	リース債務	3,187,800
車両運搬具	12,181,951	未払金	451,083,243
工具器具及び備品	13,072,065	引当金	12,169,026
リース資産	10,143,000	その他流動負債	14,790
建設仮勘定	313,616,812	繰延収益	2,661,739,729
無形固定資産	858,240	長期前受金	2,661,739,729
施設利用権・電話加入権	858,240	負債合計	9,198,851,156
投資その他の資産(有価証券)	500,000,000	資本金	6,937,028,790
流動資産	2,236,657,084	自己資本金	6,937,028,790
現金預金	1,972,586,892	剰余金	993,216,901
未収金	278,463,902	資本剰余金	46,062,371
貸倒引当金	△ 16,524,630	利益剰余金	947,154,530
貯蔵品	530,920	減債積立金	0
前払金	1,600,000	建設改良積立金	276,000,000
その他流動資産	0	当年度未処分利益剰余金	671,154,530
		資本合計	7,930,245,691
資産合計	17,129,096,847	負債・資本合計	17,129,096,847

資産の部

負債の部

資本の部

	令和4年度決算	令和3年度決算	前年度比較	経営戦略計画値	比較
現金預金 (有価証券含む)	2,472,586,892円	2,349,169,527円	123,417,365円	2,191,413,000円	281,173,892円
企業債①②	6,065,874,868円	6,259,617,541円	-193,742,673円	6,105,424,000円	-39,549,132円
企業債残高対 給水収益比率 (基本料金免除なし) ※企業債①②/給水収益	547% (508%)	521%	26% (-13%)	507%	40% (1%)



	評価コメント
現金預金 (有価証券含む)	計画値より資金を確保できています。
企業債①②	年平均6.2億円の投資（建設改良）を行いながら、企業債残高は計画値を下回っています。
企業債残高対 給水収益比率	計画値どおりとなっています。

◆評価まとめ

計画どおり投資（建設改良）を行いつつ、収益的収支では黒字を確保し、現金預金の残額は前年度よりも増えている状況です。経営成績・投資状況・財政状態において、計画を若干上回っています。